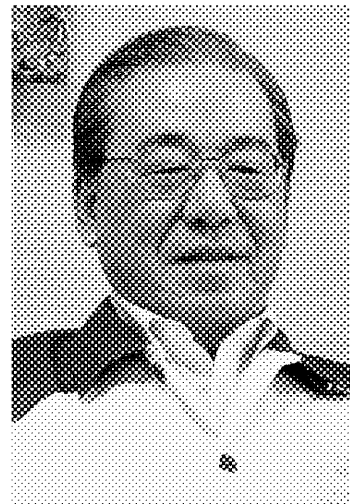


荒野を駆ける

③ - 自動車産業 -

― 定元の事業環境は
いかがですか。 ―
「自動車部品は電動
化の過渡期で新規に受
注を獲得することが難
しくなっている。当社
は変速機部品が主力だ
が、精密冷間鍛造でギ



樋田 克史氏

アイコクアルファ社長

アを製造できる強みを
生かして電動車向けギ
アボックスの受注を狙
う。冷間鍛造はコスト
面でも有利で、材料の
ムダが少ない。常温で
成形するため二酸化炭
素(CO₂)も削減で
きる。精度は切削に軍
配が上がるが、どの程
度の精度が必要なのか
を顧客とテストしなが
ら見極め、メリットを
提案していく」

冷間鍛造で電動車部品

「CO₂排出量は2
030年度までに13年
度比46%削減すること
を目指し、太陽光発電
パネルの設置やCO₂
フリー電気の購入を進
めている。加えて環境
改善に貢献した社員個
人の取り組みを社内で
表彰する制度『カーボ
ンニュートラル大賞』
を開始した。例えば担
当する機械の加工効率
を高める電気の使用量
(愛知県一宮市)から
を抑制するなどのアイ
デアを表彰する。全社
アを表彰する。全社や
し、26年に稼働する。

自動車をはじめ食品や
医薬品など幅広い業界
でラクラクハンドの導
入が広がっている。女
性や高齢者から人材の多
様化が進んでいること
も追い風だ。今回の移
管で創業の地である祖
父江に全事業部の拠
点が集約する。30年、50
年先も地域を支える企
業として操業し、さら
なる地域の発展に貢献
したいという思いを
実現できる」

― 社員の意欲を高め
るための制度は。 ―
「週を生産計画など
の目標を自主決定する
『OWP(アワーウェイ
す)』を独自の取り組み
『クリップラン』を
導入しており、仕金も
あり、成果を認め
る達成感につながっ
ている。チームごと
品質や生産性などの
年い」 (随時掲載)

記者の目

脱炭素の好循環形成に期待

アイコクアルファはOWPや
課題ラリーのほか、事業部ご
との業績に連動した賞与を支給す
る「成果配分制度」という独自の
制度も取り入れている。環境
対応ではチームや個人での改善
活動を表彰し賞金も支給する。
社員のモチベーションを高めると同時に、
CO₂削減活動を盛り上げる好循環が形成
されそうだ。
(名古屋・増田晴香)